

安心して 住み続けられる まちづくり

■交通基盤の整理

八幡平地区の公共交通空白地域を解消するため、予約型乗合タクシーを運行し、地域の特性やニーズに応じた持続可能な移動支援体制を整えます。

また、道路橋の点検や松山跨線橋の補修工事など、長寿命化対策を進め、安全・安心な道路交通の確保に努めます。

■住環境の整備

上水道未普及地域の解消を図るため、大久保地区の拡張工事を実施します。

また、鹿角花輪駅前整備事業では、花輪ばやし開催までの完成を目指し、広場内の交通規制を行いながら、遅滞なく工事を進めます。

住宅の整備は、毛馬内住宅の建て替えに向けた建築工事に着手するほか、高井田住宅の長寿命化対策を進めるとともに、引き続き、民間住宅のリフォームや木造住宅の耐震化を

支援し、市民の居住環境の向上を図ります。

■循環型社会の推進

昨年7月に設立した地域電力小売会社「かづのパワー」が、4月から市の32施設で電力供給を開始し、いよいよ「電気の地産地消」の取り組みが実現します。

引き続き、地域内電源の獲得とあわせ、供給先の拡大を目指すほか、再生可能エネルギー電力やそれを使用した製品への需要が高まっていることから、本市が持つ豊富な資源を産業力強化に活用することも視野に入れた、新たなエネルギービジョンを策定します。

■防災体制の充実

災害に強い地域づくりを計画的に進めるため、新たに「鹿角市国土強靱化地域計画」を策定します。また、水防法に基づき、県による米代川、富士川、大湯川、小坂川、熊沢川の浸水想定区域の見直しを受け、洪水ハザードマップを作成して市内全戸に配付し、市民の防災意識の向上を図ります。

さらに、大規模災害時の連絡手段の要となる防災行政無線について、

新たな通信システムを構築し、いかなる災害現場でも、迅速かつ的確に応急対策に取り組めるよう、体制をより一層強化します。

■空き家の適正管理

地域の安全対策については、「空き家等対策計画」に基づき、補助制度を活用した自主的な解体への誘導や、周辺に悪影響を及ぼす空き家への指導強化により、管理不全な空き家の解消と発生抑制に取り組まします。

■参加と連携を 促進する まちづくり

■地域コミュニティの活性化

地域の課題解決に向け、自治会元気づくり応援補助金や自治会コミュニティ再生応援事業を継続するほか、集落の課題整理などに集落支援員を派遣しながら、自治会の主体的な取り組みを支援します。

■国際交流の推進

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の好機を活かして、「鹿角市ホストタウン推進協議会」によるオール鹿角の体制でホストタウン事業を展開し、聖火リレーのほか大湯ストーションサークル館で縄文の火をおこす「パラリンピック探火式」を実施し、本市をPRします。

また、五輪期間中には競技中継を見ながらステージイベントを同時に楽しめる「コミュニティライブサイト」の開催や、ショプロン市からの行政訪問団招致に合わせた青少年スポーツ交流と文化交流のほか、小・中学生によるハンガリー選手への手紙応援を行い、国際理解の増進と地域の活性化を図ります。

■移住・定住の促進

移住者層の獲得を目的に、新たに「子育てママ応援ツアー」を実施し、市内の事業者とも連携しながら、移住と仕事をマッチングした支援に取り組めます。さらに、NPO法人との連携による充実した相談対応や、定住につながるフォローアップを継続し、移住者の増加と移住準備軍となりうる関係人口の拡大を図ります。

教育執行方針

心豊かで たくましく 郷土を愛する 市民を育む

■学校教育の充実

主体的・対話的で深い学びのある授業を展開するために、学習活動の基盤となる学習集団のアセスメントを実施し、各種学力検査の結果と合わせて分析を行い、学級経営や授業改善に生かすほか、児童生徒一人ひとりの特性を理解し、より良い学習体制を整えます。

電子黒板やタブレットなどのICT機器の活用を図り、情報モラルの視点を持った学習活動に取り組むとともに、児童生徒が興味関心を抱く魅力ある授業づくりを目指すほか、各校へのALT派遣によって外国語学習を充実させ、東京2020オリンピックパラリンピックを機に増加が見込まれるインバウンドや外国人労働者の受け入れなど、国際交流における大きな社会変化にも対応できる、高いコミュニケーション能力を育成します。

「特別の教科道徳」において、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に捉え、生き方に対する考えを深められる学習になるよう、授業の質的改善を図ります。

ふるさとの良さに触れる体験活動

教育執行方針

令和2年第1回市議会定例会で教育長が発表した「教育執行方針」から、教育行政における本市が目指す方向性と今年度の取り組みをお伝えします。

■生涯学習の推進

市民の多様なニーズに対応した、さまざまな生涯学習活動を効果的に展開するため、地域づくり協議会や社会教育関係団体との一層の連携を図ります。

また、引き続き、地域課題の解決や実践で生きる技法を学ぶ人材育成講座を開講しながら、地域コミュニティ機能の充実や地域づくり活動の活性化を目指します。

■スポーツの推進

市民の誰もが体力や年齢に応じ、

■芸術・文化の振興

生涯を通じてスポーツに親しむことができるよう、チャレンジデーやタートルマラソンなど、気軽に親しむことのできる運動機会を創出するとともに、健康づくりに対する市民意識の向上を図ります。

スキー大会は「全日本学生スキー選手権大会」と「国民体育大会スキー競技会」のダブル開催が予定されており、万全の準備を進めます。

開館から5周年を迎える文化の杜交流館コモッセを拠点として、引き続き、優れた芸術文化の鑑賞や、郷土の伝統芸能・文化にふれあう機会を創出しながら、市民の多彩な芸術文化活動を支援します。

世界遺産登録の推進は、大湯環状列石を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」の2021年の登録実現に向けて、イコモスによる現地審査への対応や保存管理計画の実行など、構成する4道県市町と一層の連携を図りながら取り組みを進めます。

また、保存管理体制やガイドなどの受け入れ体制の整備のほか、国内外へ価値や魅力を発信しながら、大湯環状列石の適切な保存・管理、活用を図ります。